

乗ってもいない「グリーン料金」を チャカリ着服 進まない議会改革に良識ある市民が立ち上がる

「乗ってもいないグリーン料金の支払いは不当な支出だ」として、前島直也さんをはじめ140人の方が住民監査請求を起しましたが、監査委員会は5月22日「違法又は不当な公金の支出であるとは認められない」と、住民監査請求を棄却しました。住民側は本日(6月21日)、監査委員会の決定を不服として、大垣市長に対して「支給した特別車両の金額を請求せよ」と、議員及び随行者に返還を求めるよう裁判所に提訴しました。その概要お知らせし、みなさんとともに議会改革を進めていきます。皆様のご支援をお願いいたします。

大垣市議会議員 笹田トヨ子

乗ってもいない「グリーン料金」を支給し続けた大垣市

平成10年、故岡田昭三議員は、乗っていないグリーン車両の料金を大垣市に返納しようとしたが、大垣市は受け取りを拒否したため裁判を起しましたが、判決は不当性がないと、岡田昭三議員の訴えを棄却しました。

しかし、岡田昭三議員が訴えた「グリーン料金は必要ないことは社会通念に照らしても明らかであり、実際にグリーン車を利用しなかったため、返納は当然」との訴えを真摯に受け止め、その段階で、旅費規定等の変更を行うべきであったと考えます。

岐阜県下でも大垣市だけが「グリーン車」使用

岐阜県下14市の特別車両料金について、大垣市議会事務局の調査によると、大垣市と各務原市が「特別車両料金」を「支給する」となっていますが、各務原市は「請

求しない」となっており支給されていません。他の市は「支給できる」となっているが、請求していません。この様に大垣市だけが、乗りもしない「グリーン料金」を支払っていたのです。

居直る保守会派 予算要求陳情に「グリーン車」使用

議会改革統一会派(5人)の皆さんは粘り強く、「住民感情に反する悪習」であると、グリーン車利用の廃止を訴えています。しかし自民クラブでは「議員のステータスを高める」といって、今まで乗らなかったグリーン車を今年からグリーン車利用を明言。1月29～30日の自民クラブが行った「国への要望」のための旅行にはグリーン車を利用しています。

ただ、ここ2年間の調査では、副市長の視察、出張等では特別車両料金の請求はなく、特別職の普通車の利用が増えております。

これからも議会内外で、時代から取り残された「旅費規程」の変更を求めて行きます。

24年度のグリーン料金の返還を求めます

下記の表は、平成24年度の市議会行政視察と国への要望のため支出した旅費とその中で利用されなかった特別車両料金です。前島さんたちは裁判で市長に対して、使用されなかった特別車両料金807,060円を議員等に請求するよう求めています。

尚、下表の中には、自民クラブの「国への要望」のための旅費は含まれていません。

氏名	旅費	特別車両料金
長谷川つよし	149,130	23,000
中田ゆみこ	200,610	32,120
富田三郎	208,850	33,000
粥川加奈子	200,610	32,120
田中孝典	90,570	14,120
日比野芳幸	194,040	36,940
山口和昭	144,890	22,000
小川文康	151,810	25,940
野田のりお	135,490	20,000
笹田トヨ子	185,170	33,300
石田仁	225,330	43,300
川上孝浩	190,570	35,420
岡本敏美	185,170	33,300
石川まさと	144,890	22,000
丸山新吾	244,360	44,940
岡田まさあき	302,130	55,240
野村弘	155,280	27,460
鈴木陸平	210,370	34,820
横山幸司	144,360	23,640
富田せいじ	85,170	12,000
林新太郎	255,280	48,760
高畑正	155,280	27,460
随行職員合計分	725,470	126,180
総合計	4,684,830	807,060